

令和7年第24回定例公安委員会会議録

開催日時 令和7年8月7日（木）午前11時15分～午後2時40分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時10分

2 出席者

公安委員会 久本委員長 笠田委員 杉原委員

警察本部 青山警察本部長 渡邊首席監察官 山柝生活安全部長
細田刑事部長 宮田交通部長 永島警備部長
山本警察学校長 永井情報通信部長 足羽倉吉警察署長
生田警務部参事官

（事務局等～柳原公安委員会補佐室長、総務課員）

3 議題事項

4 報告事項

○令和7年上半期の110番受理状況（生活安全部）

○8月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

○倉吉警察署の各種取組（活動）状況（倉吉警察署）

（1）令和7年上半期の110番受理状況（生活安全部）

警察本部

令和7年上半期の110番通報総受理件数は2万2,842件で、昨年同期比で1,041件増加した。1日あたりの通報受理件数は約130件であった。過去5年間の受理状況を見ると、令和3年が1万件台後半の件数で、令和4年から令和7年の4年間と比較して、やや少なくなっている。これは、新型コロナウイルス

ルスの蔓延による各種社会情勢が影響しているものと認められ、令和4年以降は、コロナ禍以前の件数に戻ってきている状況である。

次に、通報内容についてであるが、例年どおり、交通事故に関係する件数が最も多く、令和7年上半期は、6,265件の通報を受理し、前年比で554件増加し、総受理件数の27.4パーセントを占めている。刑法犯関係の通報は224件で、前年比で45件の増加となった。通報内容の「その他」については、多い順に、交通・防犯等に関する各種情報が3,856件、電話番号案内、道路状況の問い合わせなどの各種照会が3,279件、続報が2,738件と続き、これらが高い割合を占めている。

続いて、誤接続の状況についてであるが、総受理件数のうち、いたずら、誤接続等の無効件数が、3,899件で、全体の約17パーセントを占めている。そのうち、誤接続の件数が、1,492件で、前年の1,613件から121件減少した。令和3年10月以降に発売されたアンドロイドのスマートフォンに、電源ボタンを連続で5回以上押すと110番に自動接続される機能が追加されており、これにより、全国的に誤接続が増加したものと認められる。本県においても、令和4年後半から令和5年中にかけて、誤接続件数が増加していたが、その後減少傾向にあるのは、警察や販売店等の広報啓発により改善が図られているものと考えている。しかしながら、依然として一定数の誤接続が発生していることから、引き続き、110番は緊急通報であるということなど、適正な110番利用を呼び掛ける各種広報啓発活動を推進していく。

委員

令和7年2月は件数が多くなっているが、交通関係の通報が多いためか。

警察本部

そのとおりである。積雪により、対応件数が増加している。

委員

算出された数値に基づいて、対応をお願いしたい。

委員

誤接続やいたずらなどが一定数あると思うが、引き続き110番通報への適正な対応を図ってもらいたい。

委員

誤接続やいたずらは、警察の本来業務に支障を来すおそれがある。緊急性の高い案件に迅速な対応ができるよう、引き続き110番通報の適正利用に関する啓発活動を行ってもらいたい。

(2) 8月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

警察本部

8月中の入校関係について、採用時教養は初任科第101期・102期が引き続き入校している。専科については、特殊犯捜査専科が入校予定である。

8月中の行事・訓練関係等について、運転技術向上のため、自動車学校指導員による運転訓練を実施したほか、初任科101期の卒業試験・102期の中間試験を実施済みである。また、本部長による訓育、しゃんしゃん祭りへの参加、夏季特別休暇の取得、日本漢字能力検定の受検、部外講師による交通事故防止研修会を予定している。

7月中の行事・訓練等の状況について、初任科は災害警備訓練、救急法講習、制服実務研修を行ったほか、部外講師による手話講習を受講した。初任補修科は、卒業試験を行った後、7月25日に卒業式を挙行了した。

委員

今年は、警察学校がしゃんしゃん祭りに参加するとのことである。目を引くと思うので、参加する学生は楽しみながら踊りを頑張ってもらいたい。

多くのカリキュラムで、沢山のスキルを身につけなければならないが、一つ一つの訓練の意味合いを伝えながら教養・訓練を実施し、愛情を持って厳しく育成してもらいたい。

委員

春に入校した学生が、卒業試験を行ったと報告があり、月日の早さを感じた。この先、各警察署に行って経験を積んでいくと思うが、警察学校を卒業するまでの間、しっかりと教養をお願いする。

漢字検定を受検することは、良い取組だと思う。県民の面前で書類作成をすることがあるので、漢字を書く習慣を身につけてもらいたい。

委員

厳しい訓練に日々励む中で、社会に対応するような訓練、講習及び研修を受けていると感じた。現場に出て、即戦力となり県民の期待にこたえる警察官になるべく、頑張ってもらいたい。

(3) 倉吉警察署の各種取組（活動）状況（倉吉警察署）

倉吉警察署

倉吉警察署長から、警察の各種広報啓発活動の推進、働きやすい職場環境の醸成に向けた各種取組について説明がなされた。

委員

採用募集活動について、採用5年未満の職員でオリジナル動画を作成するなど、すばらしい活動をしている。就職活動に関して、実際の仕事の風景がオープンになっている職場ほど選ばれやすいという話がある。リクルートにつながると思うので、継続して実施してもらいたい。

高校生ボランティアの活動について、昨年から委嘱者が大幅に増加したと報告があった。高校生ボランティアに関わってもらうこと自体が非行防止につながると思っており、委嘱された高校生が活動をするのは、更に良いことである。是非、この活動は継続して実施してもらいたい。

女性の活躍推進に関しては、これからの警察組織を考える上で大変良い取組である。働き方に制約があることを認めた中で、職員自身も仕事にチャレンジしており、多様な働き方による活躍に向けて、取組を推進してもらいたい。

ひまわりの絆プロジェクトについて、交通安全は、第一に子どもを守る活動だと思っている。子どもたちがひまわりの芽を育てることが、交通安全の芽を育てることにつながる。学校関係への働き掛けを、積極的に行っていただきたい。

倉吉警察署は、中部の核となる警察署である。今後も地道な活動をお願いする。

委員

若手警察官による動画作成は、警察の仕事について伝えることができる良い取組である。大変興味深いものであり、続編についても期待している。

女性職員の多様な活躍推進に向けた施策について、働きやすい職場を構築することは大切なことであり、女性職員のみならず、男性職員の意見も聞きながら、更に働きやすい職場を作っていただきたい。

委員

SNSで採用募集をPRする動画を作成されたとのことである。動画は写真よりも多くの情報を伝えることができる。ここから更に、見ていただくにはどうしたらいいか、工夫を続けていただきたい。

高校生ボランティアについて、最近はや欲のある生徒が多いと感じている。進んで活動に参加している学生に対し、防犯に関心を持ってもらう働き掛けを引き続きお願いしたい。

女性の働く環境について、女性の立場は、子育てや介護などにより働くことに対して協力が必要な場合が多い。本人の置かれている問題を解消してあげること、仕事を継続することができれば、貴重な人材を組織に残すことができるので、柔軟な対応をお願いしたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取4件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

4 報告事項

留置管理業務関係

5 決裁

- ・公安委員会宛て苦情の受理
- ・犯罪被害者等給付金支給裁定申請書の受理

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。